

ここがいい! こながい



諫早市立小長井図書館

〒859-0165  
諫早市小長井町小川原浦825  
(小長井文化ホール内)  
(0957-34-2972)  
開室時間 午前10時~午後6時

# 小長井図書館だより

2020(令和2)年 3月号 No.235

## 小長井図書館開館20周年記念講演会 ご参加ありがとうございました



もうすぐいちねんせい もうすぐようちえん. ほいくえん

ひみつ



谷川俊太郎



あたし してる  
あたしの あと  
あなたの あは  
おんなじ あなのよ

わくわくドキドキのいちねんせい

図書館では、いちねんせいの本  
をよういしています!

ぼく してる  
どせいの いちばん  
おおきな えいせい  
は  
たいたん

そのほかに せんせいって  
なにを おしえてくれるかな  
もしかすると すごいひみつ  
そっと おしえてくれるかな

### 3月 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

☒: 休館日

※ 3月のおはなし会は、  
新型コロナウイルス感染  
防止のため中止します。



### 参加者の声

♥なるべく読んであげる  
ように努める。  
♥子どもへの愛情を伝える  
のが絵本、頑張る。

- ①フルーツレンジャーと一緒にみんなで楽しく10曲の童謡を歌いました。
- ②「子どもと絵本~子どもをもって、いま思うこと~」の演題で、講師の子ども本の童話館グループ代表である川端 翔さんのお話しを聞きました。  
ご自身の子育ての中で大切にされている絵本との関わりや、子どもも大人も一緒に絵本を読むのを楽しむこと、読みたいという子どもにも合わせる、大事なものは「読んであげる」ことなど大切なことが伝わってきました。  
また、『14ひきのあさごはん』『いっぽにほ』『花さかじい』の読み聞かせをしていただきました。
- ③参加されたみなさんの楽しそうな顔がみられた「餅投げ」でした。

## ながもと画伯絵画展 開催中

3月29日まで



ながもと画伯は、幼少期より、障害のため歩くことや、話すことがむずかしく、制度上学校に通うこともない時代で、自宅ですごされていた。

50歳近くで、むつみの家に入所され、絵を描くことに興味を抱かれた。

それからは、毎日のように描かれ、次第に独自の手法を見出だされていき、たくさんの素晴らしい作品を生み出された。

## ☆新しく入った本☆

### <一般書>

#### 『背高泡立草』

古川真人/著

草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。芥川賞(2019下半年)受賞作

#### 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ/著

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ。

## ☆新しく入った本☆

### <一般書>

#### 『清明』(隠蔽捜査8)

今野敏/著

神奈川県警刑事部長に着任した異色の警察官僚・竜崎伸也に、警視庁との軋轢、公安と中国の巨大な壁が立ちはだかる。一方、妻の冴子が交通事故を起こしたという一報が…。

#### 『仮面病棟』

知念実希人/著

#### 『平蔵の母』

逢坂剛/著

#### 『聡明な女は愉しく老いる』

桐島洋子/著

### <児童書>



#### 『がっこうかっぱのおひっこし』

山本悦子/作

友だちってどうやってつくるんだろう。考えるとドキドキしてきて、けいくんは、まだ友だちがつくれていない。学校の池の工事が始まる日、けいくんは池で小さなかっぱと出会い、家に連れて帰るが…。

#### 『魔法のたいこと金の針』

茂市久美子/著

町はずれにある平井洋服店にやってきたのは、鬼の子。穴をあけてしまったたいこを直してほしいといいます。平井さんはことわろうとしますが…。金の針がつむぐ、ふしぎな物語。